

甲府市地域公共交通活性化協議会令和4年度第2回 議事要旨

1. 日 時：令和5年1月16日（月）午前10時00分～午前11時00分
2. 場 所：本庁舎6階 大会議室
3. 議 題：
 - (1) デマンド型乗合タクシーの実証実験の実施について
 - (2) 上九一色・中道地区コミュニティバス運行計画の変更について
 - ・中畑町への経路の延伸及びバス停留所の新設
 - ・地域内フィーダー系統確保維持計画変更届出書（令和5年度事業分）
 - (3) 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金に係る事業評価（令和4年事業年度）
 - (4) その他
4. 会議及び質疑応答（要旨）

事務局	議事① デマンド型乗合タクシーの実証実験の実施について — 資料説明 —
議長（会長代理）	ただいま、事務局よりデマンド型乗合タクシーの実証実験の実施についてご説明いただきましたが、何かご意見等がありますか。
委員	以前、先進都市へ視察に行った際、市民が容易にデマンドタクシーに乗りしている状況でありました。 甲府市においても、先進都市事例の研究を行った中で検討していただいているものと思いますが、今後の構想があればお聞かせ願えますでしょうか。
事務局	本市として、地域の公共交通を維持していくにあたって、さまざまな検討を重ねてまいりました。 特に今回実証実験を予定している相川地区・大里地区については、公共交通の空白地域が存在していることもあり、各地区では公共交通の協議会を発足し、さまざまな交通モードについて協議してきたという経過があります。 先進都市の事例についても調査研究を行った中で、本市に合った公共交通について多角的に検討を行い、一度実証実験を行ってみよう

<p>議長 (会長代理)</p>	<p>いうところにあるのが、今回お示しさせていただいた事業案であります。</p> <p>今回の実証実験において様々な課題が浮かび上がってくると思うので、そこを再度検証しながら次に繋げていければと考えています。</p> <p>今後、利用料金や運行台数、時間の設定等細かいところで詰めるべき部分もあるかと思しますので、引き続き検討を行っていただき、よりより事業になるようにしていただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>承知しました。</p>
<p>委員</p>	<p>70歳以上の高齢者については、免許返納することで外出が大変になるため、このような事業には賛成します。</p> <p>以前、相川地区で実証実験を行った経緯を知っておりますが、目的地が少ないこともあって実証実験で終わってしまいました。今回は目的地が多いということで、前回より利便性は上がっていると感じております。</p> <p>また、利用料金についても他機関との兼ね合い等から設定しているものと伺っておりますが、利用者数が多くなればなるほど、タクシー業界やバス業界の売上を圧迫するものになるため、このあたりの調整は今後の課題になると思います。</p> <p>一旦は、実証実験をやってみるといところから始めるのが良いのではないかと考えております。</p>
<p>事務局</p>	<p>本市として、利用料金700円の考え方として、既存の路線バスより高く、タクシーの初乗り料金よりも安くという考え方から設定をさせていただいています。</p> <p>デマンドタクシーを導入することで既存の公共交通に影響が出ることはないようにという考えを持ちつつも、高齢者の移動手段を確保したいといところから導きだした料金設定となっています。</p>
<p>議長 (会長代理)</p>	<p>では、事務局案をご承認いただけるということでよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">— 委員一同了承 —</p> <p>次の議題に移らせていただきます。</p>

事務局	<p>議事② 上九一色・中道地区コミュニティバス運行計画の変更について</p> <p style="text-align: center;">— 資料説明 —</p>
議長（会長代理）	<p>ただいま、事務局より上九一色・中道地区コミュニティバス運行計画の変更についてご説明いただきましたが、何かご意見等がありますか。</p> <p style="text-align: center;">— 意見等なし —</p> <p>では、事務局（案）をご承認いただけるということでよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、ご承諾をいただきましたので、山梨運輸支局に申請する手続きを取らせていただきます。</p> <p>次の議題に移らせていただきます。</p>
議長（会長代理）	<p>議事③ 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金に係る事業評価（令和4年事業年度）について</p>
事務局	<p style="text-align: center;">— 資料説明 —</p>
議長（会長代理）	<p>ただいま、事務局より地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金に係る事業評価（令和4年事業年度）についてご説明いただきましたが、何かご意見等がありますか。</p> <p style="text-align: center;">— 意見等なし —</p> <p>では、事務局（案）をご承認いただけるということでよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、ご承諾をいただきましたので、国への報告手続きを取らせていただきます。</p> <p>では、議事④に進みます。「その他」について各委員から何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>情報共有という形ですが、関東運輸局において地域公共交通において、地域の実情にあった自立性、継続性が見込まれる優良な取り組み</p>

<p>議長（会長代理）</p>	<p>について表彰を行っております。</p> <p>今回、関東運輸局管内の1都7県の中で群馬県前橋市と山梨県北杜市が表彰されました。この取り組みは令和元年度からスタートしている中で、山梨県においては北杜市がはじめてです。</p> <p>北杜市の取り組みとしては、協議会の下に市内を4つのエリアに分けてそれぞれに委員会を設けており、委員会では、自治体、事業者、住民の有志を集めて、デマンド交通等の話し合いを中心に行います。委員会で検討を行った結果として、4つある地域のうち、3つの地域はデマンド交通、1つの地域は定時定路線という形で、それぞれの地域の実情に合った公共交通を作っているところが評価のポイントとなっています。</p> <p>その他にもバス停のサポート施設を募集し、地域の「クリーニング屋」や「道の駅」で休憩できるようにして、施設によってはカイロやマスクを提供できるような仕組みも構築しています。</p> <p>前橋市の取り組みは、地域の主要バス会社が6社ある中で、各社それぞれで時刻表作成しており、時刻表が分刻み等になっていたところを、共同経営という形にして、分数を等間隔の時刻表としたことで、利用者の利便性向上を図ったことが表彰のポイントとなっています。</p> <p>甲府市においても令和5年度からデマンド交通の実証実験を行うことや、アピールポイントとしても公共交通の利用者増加の各種取り組みを行っていることから、今後も他地域の模範となるような形で進めていただければと思います。</p> <p>では、事務局においては、本日挙げられた意見等を事業の実施等に反映するようお願いさせていただくところであります。</p> <p>以上をもちまして、本日予定しておりました議事を終了いたします。本日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
-----------------	---